

## 記入事例

- ① 交付書類の **貸付限度額（年額）** について **を参考に貸付限度額（年額）を算出してください。**
- ② **貸付限度額（年額）の範囲内（1万円単位）で、希望する借入金額（年額）を決定し、以下を参照に記入してください。**

【事例1】

＜公立高校に進学の場合＞

最短修業年限	3年0か月		①
卒業予定年月	2029年3月		②
貸付限度額（年額）	1年	100,000 円	③
	2年	100,000 円	
	3年	100,000 円	

貸付限度額（年額）の範囲内（1万円単位）で、希望する借入金額（年額）を記入してください。

②	借入期間	2026年4月～2029年3月	③	希望する借入金額（年額）	
①	借入年数	1年		1年	100,000 円
		2年		2年	100,000 円
		3年		3年	100,000 円
		合計		合計	300,000 円
	借入金額	¥ 300,000 円			

同じ金額

「進学届」に記入した希望する金額（年額）と借入金額を「奨学資金借用証書」に転記してください。

進学届

B1 提出先 進学先の学校

(注) 各自で記入してください。

記入日: 2026 年 月 日

卒業予定年月: 2029 年 3 月 卒業予定年 月 日

最短修業年限: 3 年 0 月 最短修業年 月 日

借入人氏名 (借学生本人) (自書) フリガナ 改氏名

通帯保証人氏名 (自書) フリガナ 改氏名

進学先学校名 学科 (コース) 学校 1 全日制 2 通学制 3 定時制 4 多岐

日中連絡先 氏名 電話番号 就労 ( )

私立の学校に進学された特待生の方のみ記入

私立の学校に進学された方で、学校設置者から授業料の減額又は免除を受ける者 (特待生) は、☐ 特待生にチェックを入れ、減額又は免除後の額を記入してください。

特待生 ☐

貸付限度額 (年額) について

貸付予定者決定通知書に記載の決定内容を確認し、貸付限度額 (年額) をご確認ください。

①採用 (国公立・私立のどちらに進学した場合も借入可能です。) と記載のある方

■ 国公立の高等学校等 (高等専門学校は除く) に進学された方

■ 大阪府私立高等学校等奨学支援推進校 (全日制) に進学された方

貸付限度額 (年額): 10万円

※国の就学支援金や大阪府授業料支援補助金が支給され、授業料が無償となりますので、10万円 (その他教育費) の貸付となります。

②採用 (私立に進学した場合のみ借入可能です。ただし、授業料が無償の場合、貸付対象外となります。) と記載のある方

■ 大阪府私立高等学校等奨学支援推進校 (全日制) に進学された方

貸付限度額 (年額): 0円 (貸付対象外)

※国の就学支援金や大阪府授業料支援補助金が支給され、授業料が無償となりますので、貸付対象外となります。

■ 上記以外の学校に進学された方

別紙「貸付限度額 (年額) について」を参照に貸付限度額 (年額) をご確認ください。

高校等在学中に希望する借入額 (年額・但し借入限度額の範囲内) を記入してください。

借入期間 2026年4月～2029年3月

借入年数 1年 2年 3年

希望する借入金額 (年額)

借入金額 ¥ 300,000 円

※ 特待生のみ記入

年間授業料	
0	

借用証書

B2 提出先 進学先の学校

奨学資金借用証書

公益財団法人 大阪府育英会理事長 様

私は、貴会より下記金額を借用します。ついては、裏面に記載の貴会奨学資金貸付返還規程等を守り、約束どおり返還することを下記の者連署して誓約します。万一、返還を怠った場合には、延滞金を課せられ、強制執行の手続きをとられても異議ありません。

また、通帯保証人に対する履行の請求をした場合は、借用人に対してもその効力が及ぶことに同意いたします。

なお、裏面記載の「個人情報の利用目的等」につき承諾し、個人情報の取扱いについても同意いたします。

※奨学資金の借入金額 (年額) は、「貸付限度額」の範囲内で奨学生の希望する額とする。

(大阪府育英会奨学資金貸付返還規程第11条第1項)

※奨学資金貸付時期及び額は、貸付年額に応じ定める。

(大阪府育英会奨学資金貸付返還規程第13条第1項及び同施行細則第9条及び第10条)

借入期間 2026年4月～2029年3月

借入年数 1年 2年 3年

希望する借入金額 (年額)

借入金額 ¥ 300,000 円

希望する借入金額 (年額) の合計が借入金額となります。

借入金額欄にご記入ください。

借入金額の記入ミス・訂正は不可。

再発行を育英会に申し出てください。